

KJ BiO

UXプロジェクト

藻で挑む、畜産と地域の 共生実証モデル

～悪臭・暑熱ストレス・感染リスクを抑え収益も改善～



2026年2月19日
株式会社KJバイオ
CTO 久野 斉





畜産大手

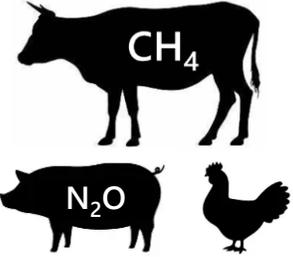
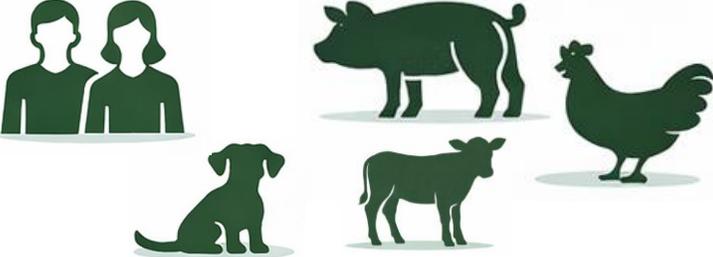


自動車部品大手



KJ BiO (24年2月28日設立)

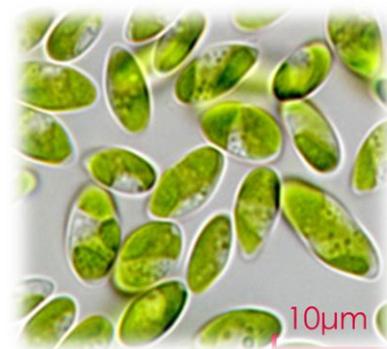
デンソーから量産技術、知見、特許、ヒトを継承

	DENSO	KJ BiO
	地球温暖化防止	地球温暖化防止
環境	 コッコミクサKJ由来 バイオ燃料	 コッコミクサKJ由来 飼料
	 自動車由来 GHG削減	 畜産由来 GHG削減
	ヒトの健康	ヒト・ペット・経済動物の健康
健康		 免疫・歯周病予防・腸内環境改善

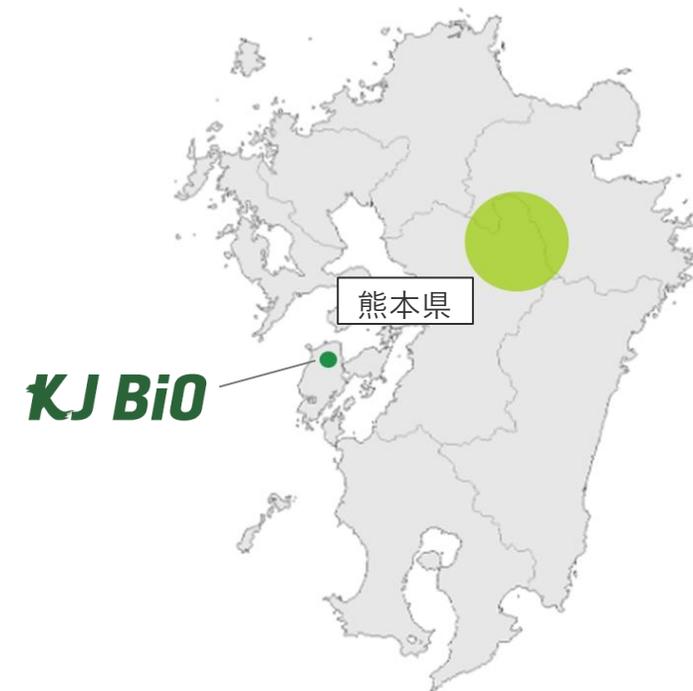
コッコミクサKJ[®] とは？

正式名称：*Coccomyxa* sp. KJ

- **淡水性**の緑藻類（クロレラの仲間）
- 阿蘇九重の**天然温泉**から発見
- 農水省プロジェクトで開発

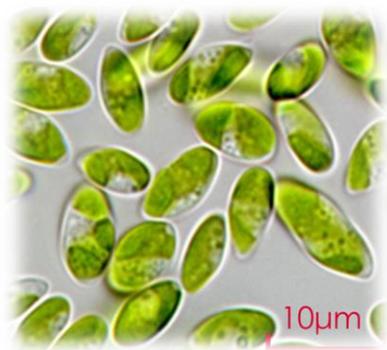


イメージ



阿蘇九重で生まれ、天草で育った淡水性の藻

藻



量産技術



用途



免疫力向上



腸内環境改善

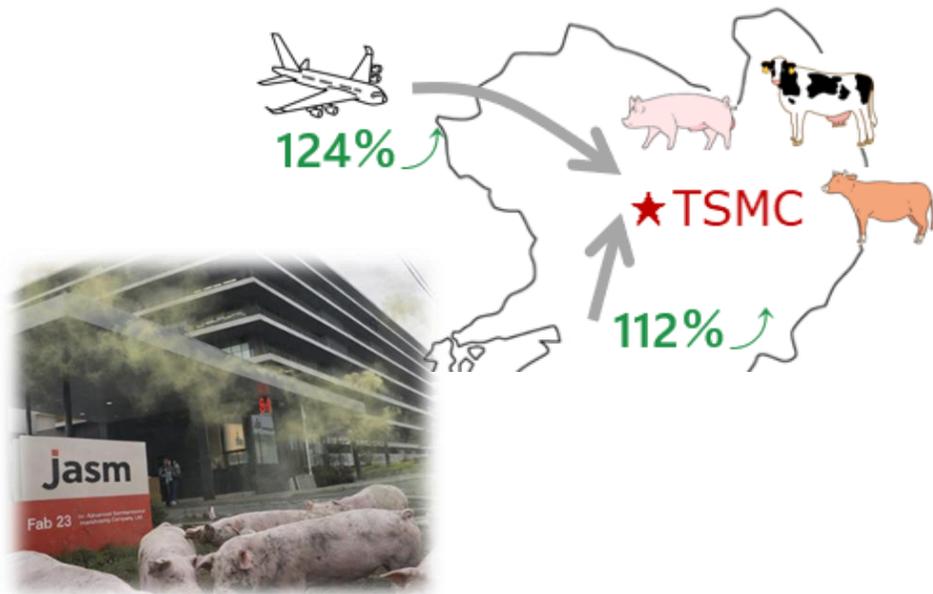


歯周病予防

上流から下流まで、すべての特許を取得

熊本県の畜産の課題

<問題点1>



家畜苦情：104件（悪臭40件）

<問題点2>



熊本県ブランド豚「りんどうポーク」



- 暑熱ストレス
- 悪臭充満
- 感染リスク

体調悪化⇒増体遅れ⇒出荷遅れ⇒収益悪化

悪臭問題と養豚収益向上を解決し、養豚と地域共生の両立を図る

実証内容

CONFIDENTIAL
関係者外秘

KJ BiO

×

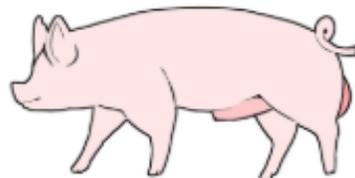


×

東海大学



コックミクサKJ培養



りんどうポーク
(熊本県ブランド豚)



体重・出荷日数



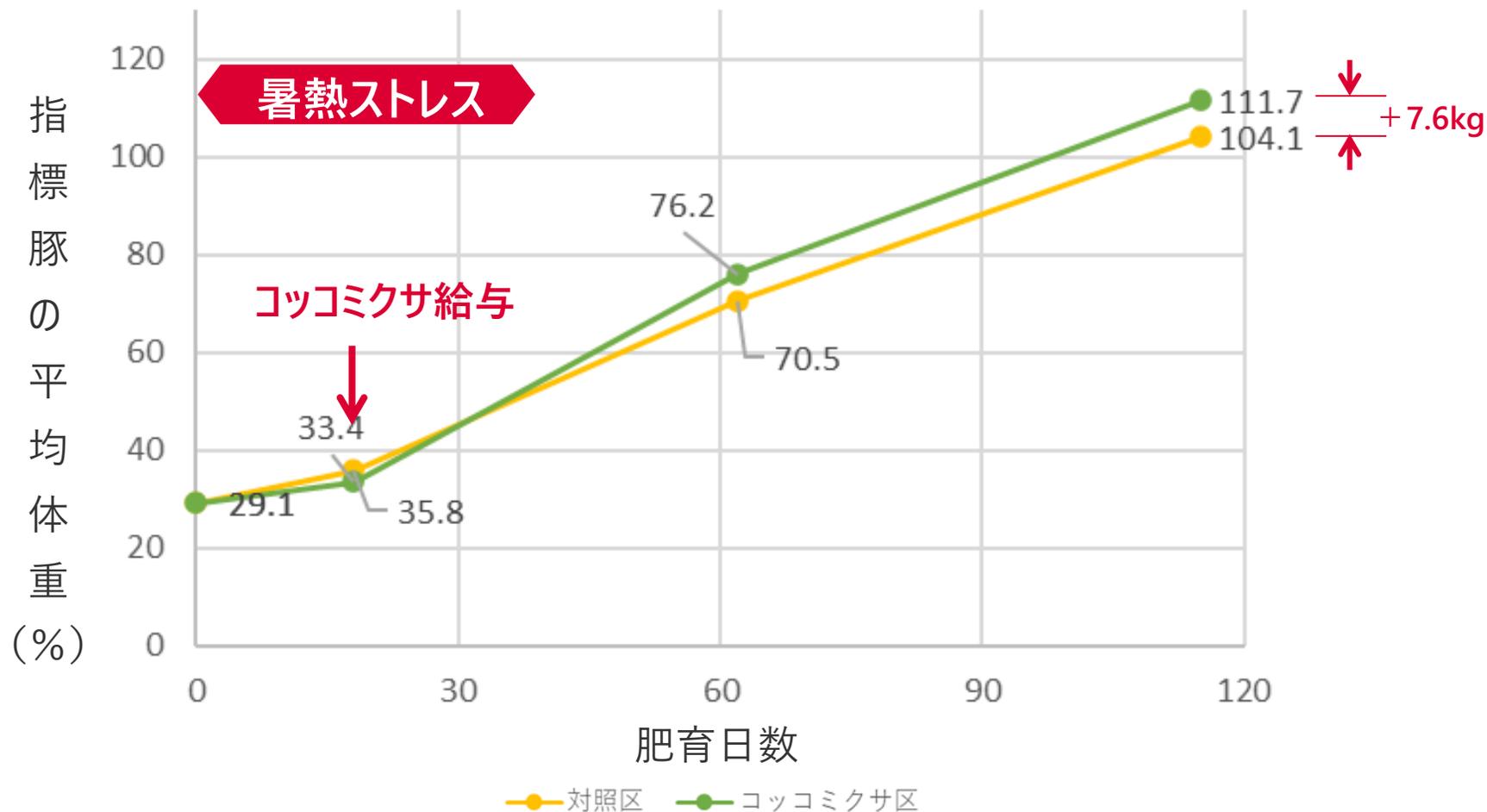
臭い分析
腸内細菌叢分析



肉質

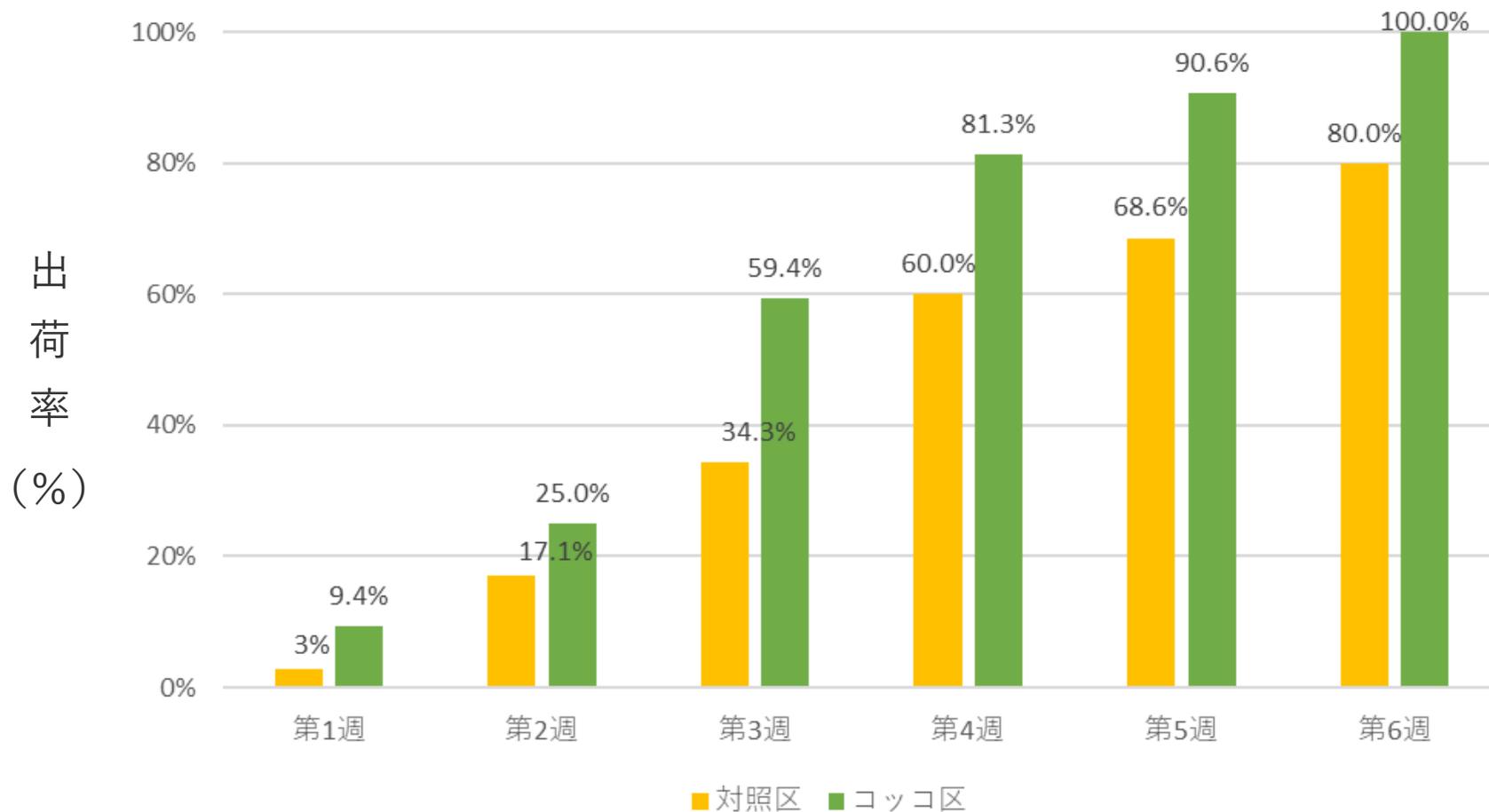
3者の協力体制で実証試験を実施 (25年9月~26年1月)

実証結果（肥育成績）



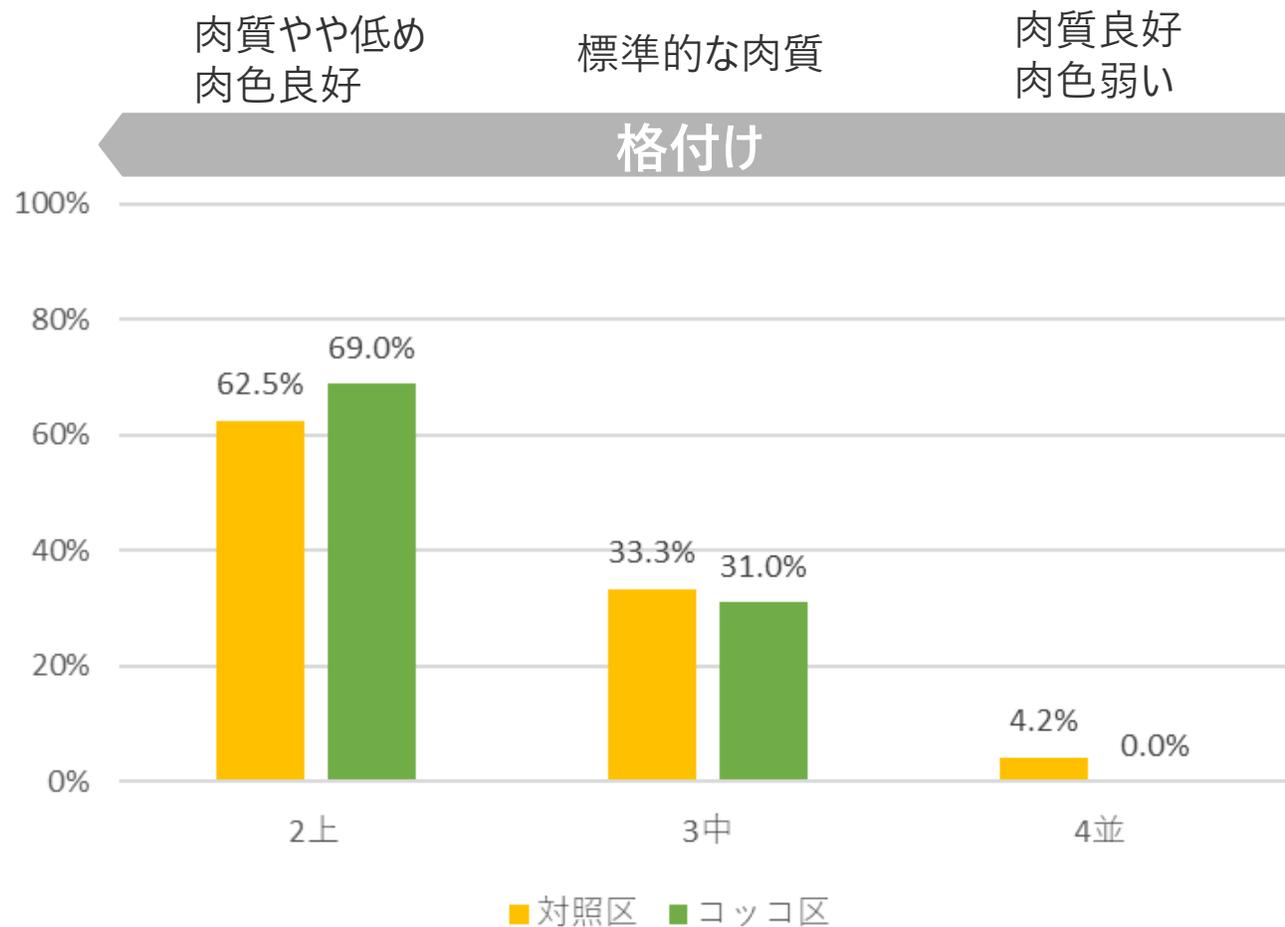
暑熱ストレスを受けた豚でも対照区と比べ、7.6kgの増体が確認できた

実験結果（出荷スピード）



コココミクサ区は対照区に比べ、1.25倍は早く出荷できた

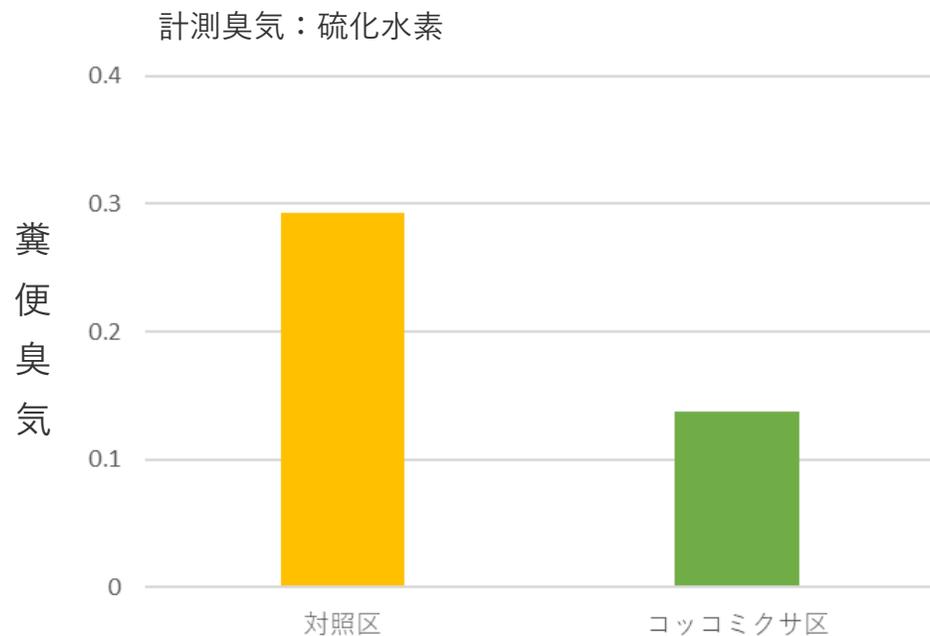
実証結果（枝肉格付け）



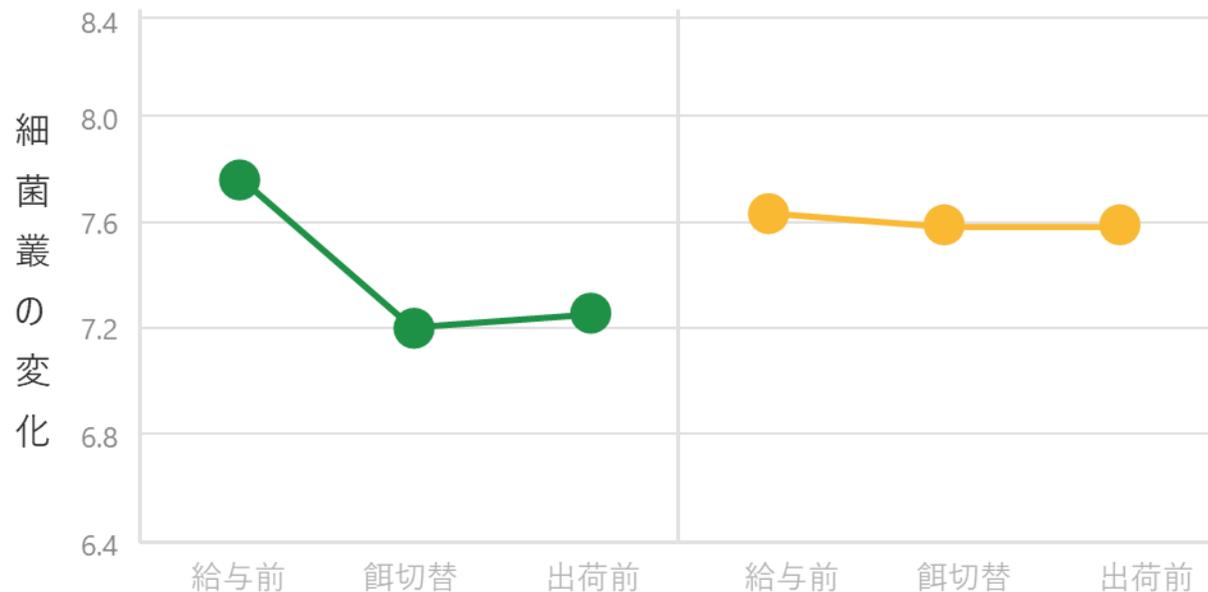
豚枝肉の格付けは、対照区よりややマイナス

実証結果（臭い、腸内細菌）

臭い分析



腸内細菌解析



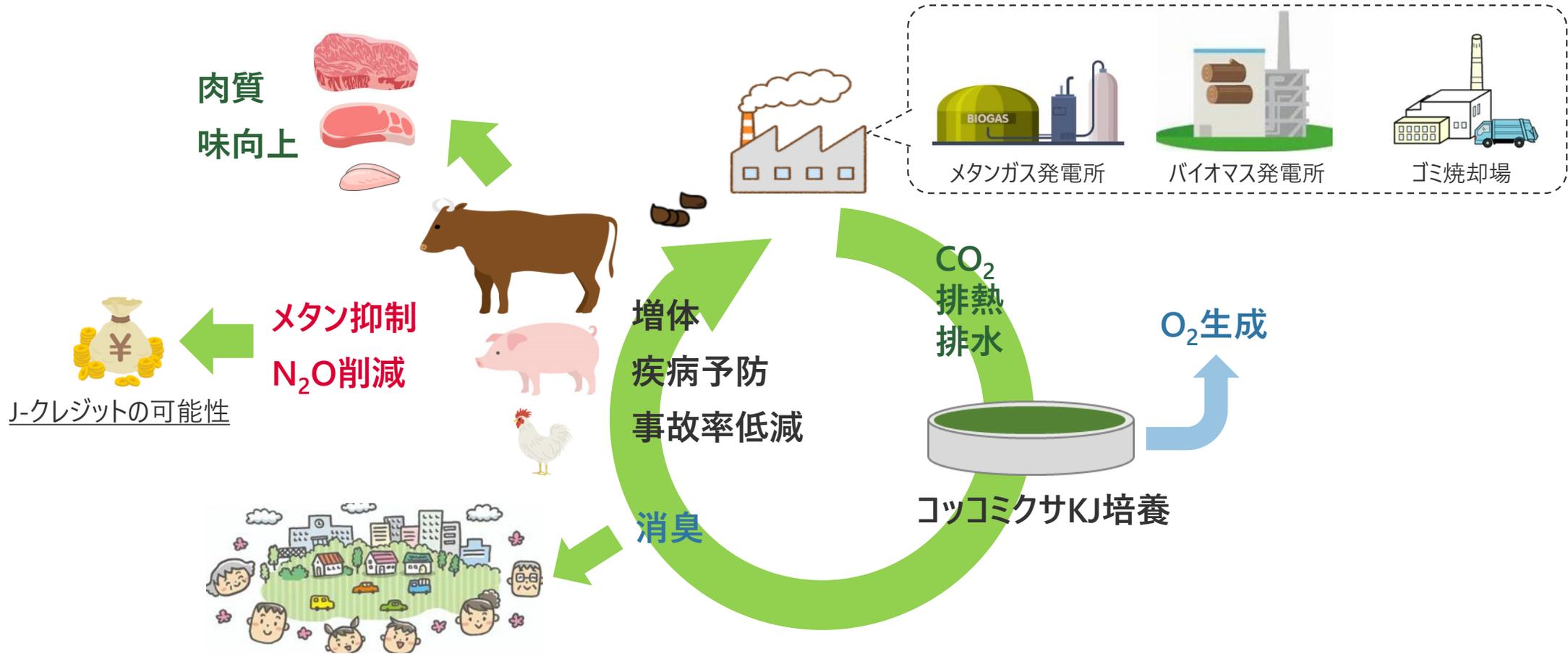
臭気は半減、腸内細菌叢は大きく変化

コッコミクサ給与時の様子



コッコミクサを添加すると、暑熱でも食い込みがよく活力がある

目指す姿



畜産と工場がコッコミクサを介して接続する地産地消型の循環畜産モデル

KJ Bio